

中山事務所管内より



猫は家族の和

てんくん(8カ月)

らんくん(8カ月)

飼い主：伊吹 百合さん

鼻に黒い点があるのがチャームポイントの「てんくん」と真っ白の毛に、茶色のしましま模様のしっぽが綺麗な「らんくん」。てんくんとらんくんが伊吹家に来たのは今年の6月。先代の2匹の猫が亡くなり、知り合いから保護猫として貰いました！

らんくんは食いしん坊。見た目とは裏腹に暴れん坊で食いしん坊です。てんくんは甘え上手。娘の智梨美さんが大好きで毎日ゴロゴロタイムがあるそうです♡

そんな2匹はいつも仲良しで、寝る時も遊ぶときも一緒です。そんな姿に家族みんなが癒されています♪

飼い主の百合さんは「帰ってきたら一番に猫の名前を呼ぶくらい、いつも猫が家族の中心で回っています」と皆に愛されてすくすく成長しています。

大好きなトラクターに乗ってパシヤリ

坂本 颯馬くん(1)

お父さんと大好きなトラクターに乗ってご満悦な表情の颯馬くん♪

小さい頃から畑での土遊びが好きで、取材中もズボンが泥だらけになるくらい土遊びに没頭していました！最近はお父さんが乗っているトラクターにも興味を持って買ってもらったトラクターのおもちゃでも遊んでいます。

そんな颯馬くんの名前の由来は、「強く優しい男の子になってほしい」という願いを込めてご両親が名付けたそうです。その願い通り、お父さんとお母さんが泣きまねをすると、頭をよしよししてくれたり、お友達が転ぶと「大丈夫？」と声をかける姿にご両親も関心しています！

父・貴史さんと母・洋子さんは「元気で人に好かれる男の子になってほしい」と幸せを願っています。

奈半利支所管内より



安芸
地区

から こんにちは
今月の気になる人

北川支所管内より



絵手紙は干支を一巡するまで 辞めれない

阿部 貴和子さん(72)

「コロナ禍でも家で人と交流できるので嬉しい」と笑顔で話してくれた貴和子さんの趣味は絵手紙です。墨や、顔彩という色んな色を混ぜ合わせて描く心のこもった絵手紙に一枚一枚、言葉が添えられています。ついつい見とれてしまいますね♪

きっかけは、8年前に一緒に3B体操をしている友達に絵手紙教室を勧めてもらった事が始まりだそうです。「それまでは全く絵を書く事が無かったけど、始めたら楽しくてはまってしまった」と話してくれました。暑中見舞いや誕生日、年賀状など、一年間に書くハガキの数はなんと100枚以上！！「これからも毎年絵手紙を書いて干支を一巡させてみたい」と趣味に没頭する毎日です。



公務員から農業の道へ

濱宇津 和貴さん(30)

1人でナス15アールを栽培する和貴さん。大学卒業後は公務員として働いていましたが、高校の時の同級生に農業の道を勧められた事がきっかけで就農する事を決めました。

その後2年間は、先輩農家の元で経験を積み、現在の新しいハウスで2作目を迎えます。「1作目は冬に害虫がわいて葉がぼろぼろになる被害があって、想像していたよりしんどかった」と当時を振り返ります。そんな時に同級生や周りの農家さんにアドバイスをくれる環境が和貴さんにとって今の一番の支えになっています。

来作からは、新しいハウスを建てる予定の和貴さんは「自分がやった分だけ成果に繋がるのが農業の魅力。これからも、基本を忠実にこなして安定した経営をしたい」と力強く話してくれました。

芸西支所管内より



5 赤野事業所

シェフの卵たちに熱血指導



土佐弁が飛び交った「なすマダム」による出前授業

安芸市施設園芸品消費拡大委員会は10月18日、東京調理製菓専門学校校の洋食コースの2年生20人を対象にオンライン形式で出前授業を行いました。授業では、ハウス内を撮影しながら高知なすの栽培方法や収穫方法を指導。なすマダムの尾木浩子さんは「環境に優しい安全、安心な高知なすを使った料理を作って欲しい」と呼びかけました。生徒達は翌日、高知県産のなすを使ったフレンチ料理を一般のお客様に振舞いました。

6 奈半利支所

触れて食べて
命の大切さを学ぼう

土佐あかうしを堪能する児童

奈半利町畜産組合と高知県畜産会は10月21日、奈半利町で「土佐あかうし」の触れ合い体験学習を開きました。JA高知県安芸地区の畜産部肉用牛部会も協力。奈半利小学校の5年生18人と保護者らが参加し、土佐あかうしのバーベキューで牛を堪能した後、牛との触れ合いを通じて食と命の大切さを学びました。

畜産組合長で同部会長も務める竹崎稔さんは「将来、畜産の仕事にも興味を持ってもらえたら嬉しい」と話しました。

3 地区本部

秋の観光列車旅・
おもてなしに感動

地域のおもてなしに手を振り喜ぶ部員ら

女性部安芸地区は10月24日、県内で「女性大学ときめき学園」を開きました。部員や地域住民17人が参加し、観光列車などを満喫しました。部員はとさのさとアグリコレットで買い物後、観光列車「志国土佐 時代の夜明けのもの」がたりへ乗車。高知駅、窪川駅間、須崎婦人会や佐川観光協会など地域住民らのおもてなしに触れました。

部員は「地域住民の方のおもてなしに感動した」と刺激を受けていました。

4 安芸ユズ加工工場

生産量日本一
早摘みユズ収穫最盛期

「豊かな香りを楽しんでもらいたい」と収穫に励む小松さん

JA高知県安芸地区で、生産量日本一を誇るユズの収穫が本格化しました。

安芸ユズ加工工場では、10月15日から加工用ゆずの受け入れ、搾汁作業が始まりました。今年は晴天が続く適度に雨が降ったため、実も順調に肥大し、質は上々といえます。

生産者の小松正博さんは「今年は大玉が多い。全国の人に日本一を誇るユズの豊かな香りを楽しんでもらいたい」と呼びかけました。

Monthly Topics

できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



丁寧に鎌で稲を刈る刈女

1 芸西支所

新嘗祭抜穂式
刈女が実りの秋に
感謝を込めて稲刈り

JA高知県安芸地区は9月28日の「一粒万倍日」に合わせて、安芸郡芸西村で新嘗祭に献上する米の抜穂式を行いました。

新嘗祭は、毎年11月23日に行われており、その年の収穫に感謝して来年の豊穡を願う行事です。抜穂式にはJA役職員のほか同JA稲作部、行政の関係者など約23人が出席しました。

同JA管内からの献穀者は5年ぶりで、JA高知県安芸地区稲作部会の谷山広明さんが選ばれ、約300㎡の献穀田で「こまる」を栽培しました。

関係者らが見守る中、5月26日にお田植え式をした水田で刈女が「こまる」の稲を1株ずつ丁寧に鎌で刈取りました。

谷山さんは「台風の影響もなく良い米ができた。丹精込めて育てた米を皇室へ献納できることは滅多にない経験で嬉しい」と胸をなでおろし喜びました。

刈り取った米は脱穀・精米した後、皇室へ献納されました。



笑顔で「なすっこ」を販売する女性部員

2 あき支所

高知東海岸グルメまつり
安芸市産ナスをPR

女性部の安芸地区安芸支部「なすっこ組」は10月8、9日の両日、安芸タイガース球場駐車場で開かれた「高知東海岸第8回「グルメまつり」」へ参加しました。

第1回目から毎年参加していましたが、コロナ禍で中止が続き4年ぶりに開催。2日間の開催で約5000人が来場し、大勢の人で賑わいました。

会場では、来場者へ生産量日本一の安芸市産ナスを使った手作りの肉まん「なすっこ」やなすのたたき、なすギョーザなど

を販売しました。

購入客は、「昨日買って美味しかったのでまた買いにきた」と話し、数個購入される方もいました。

なすっこ組代表の清遠みかさんは、「久しぶりに大きなイベントに参加できて嬉しい。高知なすの美味しさを知ってもらえる良い機会だった。今後も地域のイベントに積極的に参加して盛り上げていきたい」と話しました。

グルメまつりには、安芸市のご当地グルメや漫才ステージなどもあり、会場を盛り上げました。

えいのう



栽培管理

ナス

12月から1月は日照時間が短く、気温も低い時期となります。樹勢の維持と病害対策の管理に努めましょう。

【凍傷害防止】

収穫後の果実は7℃以下の低温に遭遇させないように保管しましょう。

【整枝・摘葉・光環境】

赤果、青べた果を発生させないように二重内張りを開けるとともに、側枝は1芽切り戻しとします。樹勢が弱く側枝の生育が悪い場合は芽かきの頻度を減らして樹へのストレスを緩和しましょう。また、採光性を高める為、懐の重なる部分は適宜摘葉しましょう。

【灌水・追肥】

日射量が少なくなる為、灌水は徐々に少なくしましょう。1〜3日毎を目安として、成り込んだ場合は、1回の量を少なくしてこまめな灌水を行いましょう。1か月当りの施肥量は10a当りチッソ成分で6kgを目安とします。置肥は、ガス障害の心配がある為、10a当りチッソ成分で3kgまでとします。

【苦土欠対策】

予防として水200ℓに1kgの硫酸マグネシウムを10日毎に葉面散布しましょう。

【温度管理】

昼間（11〜14時頃）は26〜29℃（直射日光を避け、通風条件で測定）を目安に管理し、樹勢を見ながら調整しましょう。夜間の温度管理は花粉の稔性を確保する為12℃を目安に管理しましょう。サイドの3重張りや保温マットの設置、入口や天窓などの気密性を高めて保温に努めましょう。

【単花処理】

ハチの飛びが悪い場合や最低気温が12℃を下回る場合は単花処理を行いましょう。灰色かび病や水疱症の予防の為、必ず花抜きをしましょう。

【病害虫防除】

厳寒期に病害虫が発生している場合、そのまま放置していると春先にかけて一気に広がる可能性が高くなります。特に疫病、菌核病、黒枯病、すすかび病、軟腐病、灰色かび病、ヨトウ類については徹底的に防除しましょう。

収穫期以降の管理

カンキツ

ポンカンや土佐文旦等では間もなく収穫を迎えます。収穫作業中の事故や体調管理などは、十分に注意しましょう。

【越冬害虫の防除】

ダニ類やカイガラムシ類等の防除は、次年度の発生源となる越冬害虫の密度を低下させるための作業が重要です。

カイガラムシ類は、卵や虫体が口吻物質を中心とした被覆物質により覆われているため、通常の薬剤を散布しても薬剤が本体自体にかかりにくく、防除が困難となります。

冬マシンの油の散布は、他の殺虫剤と違って薬剤抵抗性がついたダニ類等の害虫やカイガラムシ類等の難防除害虫にも効果が高いので、散布ムラがないよう、丁寧に葉の裏まで十分な量を散布しましょう。

散布時期は収穫後から1月中旬頃までで、樹勢が弱っている場合は、落葉を助長することがあるので寒さが緩んだ3月以降に散布するように注意して下さい。

【土壌分析の活用】

カンキツの生産は園地の環境条件や気象条件が大きく影響しますが、土壌条件も生産力や品質に関わっています。園地の土壌pHの測定は、土壌改良の基本となる苦土石灰の施用量の目安となり、pHが適正な範囲内になると樹体の生育や微量要素の吸収に大きく影響します。適正な土壌pHに改善する為、土壌分析を活用しましょう。

10a: 苦土石灰施用量

pH	施用量
6.5以上	施用しない
5.5〜6.5	100kg
4.5〜5.5	160kg
4.5未満	220kg

分析用の土は、肥料を施用する園地ごとに採取します。園地の3〜5ヶ所から表土を数cm除いて、その下約20cmの土壌を掘り取り、一つのビニール袋に入れます。分析は随時受付けていますので、近くの支所まで持参して下さい。

「地域の農地のいよ、地域で話し合う」

濱田 紀子

1人・農地プランの作成状況

農業経営を取り巻く環境は厳しさを増し、持続可能な農業を実現するためには、基本となる「人と農地の問題」を体系的に解決していく必要があります。

国（農林水産省）が平成24年度から事業をスタートさせた「人・農地プラン」は、地域の高齢化や農業の担い手不足が心配される中、5年後10年後に誰がどのように農地を利用して農業を行っていくかを地域や集落の話し合いに基づきとりまとめたプラン

市町村	プラン数	プラン内の農地面積 (ha)	5〜10年後の後継者未定・不明農地面積 (ha)	中心経営体今後引受面積 (ha)
室戸市	9	152	55	16
安芸市	8	1,090	132	-2
東洋町	3	124	12	12
奈半利町	5	147	32	1
田野町	1	142	30	0
安田町	4	235	38	1
北川村	1	231	18	9
馬路村	1	76	7	0
芸西村	1	276	17	3
合計	33	2,473	341	40

R3年度に人・農地プランの実質化の取組が終了した地域の状況

（計画）です。東部エリアの人・農地プラン（表参照）を見てみると、5〜10年後の後継者未定または不明の農地面積は341haにもなっています。これはエリア全体の面積の約14%にあたります。

2人・農地プランから地域計画へ

今後、高齢化や人口減少の本格化により農業者の減少や耕作放棄地が拡大し、地域の農地が適切に利用されなくなることが懸念される中、農地が利用されやすくなるよう、農地の集約化等に向けた取り組みを加速化することは喫緊の課題です。

そのため、国では、①人・農地プランを法定化し、地域での話し合いにより目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を定め、②それを実現すべく、地域内外から農地の受け手を幅広く確保しつつ、農地バンクを活用した農地の集約化等を進めるため、令和4年5月に基盤強化法等の改正が行われました。

このことにより、これまで行ってきた人・農地プランの実質化の取り組みを踏まえ、令和7年3月末までに、市町村は地域計画の策定・公表・実行へ取り組みなければならなくなっています。

『地域の農地を今後どうやって守っていくのか』、これまで地域の皆さんが守り続けてきた農地を、次の世代に引き継いでいくため、農作業がしやすく、手間や時間、生産コストを減らすことが期待できる農地の集約化等の実現に向け、『将来、地域の農地を誰が利用し、農地をどうまとめていくか』

「農地を含め、地域農業をどのように維持・発展させていくか」といったことを若者や女性を含めた幅広い意見を取り入れながら、地域の関係者が一体となって話し合うことが求められています。



3地域計画に盛り込む内容

地域計画には「筆」ごとに誰が耕作するのかを記入する必要があります。そして、計画を作成するためには、地域の担い手が主体となった話し合いによる地図がベースになります。地域の担い手と市町村、農業委員・推進委員、JA、農地バンク、土地改良区、農業振興センターなどの関係機関が一体となり、各地域の農業の将来のあり方、守るべき農地の区域の設定や農業上の利用が困難と思われる農地の活用方法など、話し合った内容をもとに地域計画を作成します。

「基盤整備されると地域の担い手に集約することや規模拡大ができる」、「自分がメインで農業ができなくても集落営農組織があれば、そこで水管理だけならできる」、「地域の担い手となる新規就農者呼び込みたい」など、地域の農地を守っていくためにみんなができることをこの機会に話し合います。

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

コロナも少し下火になり、少しずつ女性部のお楽しみもあつて嬉しいですね。

(あき支所・69歳)

▼コロナ以前の生活にはまだまだ程遠いですが、少しずつ日常に戻っているのが嬉しいですね！今までも一日一日を大切に、感謝しながら過ごしたいです。

やつと100歳になりそう。

(安田支所・99歳)

▼こうぐりを読む時間が少しでも息抜きになって頂けると嬉しいです。いつまでもお元気でいてください。



(東洋支所・76歳)

▼素敵な絵手紙ありがとうございます！ナスのトゲとグラデーションが綺麗に表現されていますね！今月の「安芸地区からこんにちは」の趣味の人編でも絵手紙を紹介していますので、ぜひ覗いてみてくださいね！

広報のつぶやき

「なすスタンプラリー」が絶賛開催中！安芸市はナスの生産量日本一☆

なすを使った料理や、地域産品を沢山食べて安芸市の飲食店や生産者の皆さんを応援しましょう！お食事や商品のお買い上げ1回につき、スタンプラリーの応募はがきにスタンプを1個押印してくれますよ！因みに、「なすの日」の毎月17日はスタンプを2個もらえる大チャンス！

この写真は、参加店の「喫茶しおん」さんで購入したティクアウトのお弁当です☆唐揚げや、季節野菜のキッシュ、リボンの形をしたパスタ・ボリウム満点☆どれも美味しくペロリと完食しました！デザートにしおんさんのチョコケーキまで頂いたのは秘密です・・・(笑)

(恒石)



「なすスタンプラリー」 今年も開催！！

安芸市に今年もおいしいなすの季節がやってきました！

安芸市施設園芸品消費拡大委員会は11月17日から、新型コロナウイルス感染拡大の影響で打撃を受けた市内飲食店の活性化と、生産量日本一を誇る冬春ナスのPRをするため、市内でナス料理を提供する飲食店を巡るスタンプラリーを開始しています！

11/17(木)～2/17(金)の期間中、なす料理等提供店舗で食事等をして5個のスタンプを集めると「安芸の野菜とオリジナル内原野焼き野菜の小皿セット」や「お食事券」など安芸市の地域産品が当たるチャンス！生産量日本一を誇る安芸市のなすをたくさん食べて是非、参加してみてください！

#毎月17日の「なすの日」は特別にスタンプ2個！！参加店舗などの詳細は「なすスタンプラリー」で検索 or QRコードでチェック！



安芸市になすの季節がやってきました！

なすスタンプラリー

開催期間 令和4年 11月17日(木) 2022年 2月17日(金)

安芸市は日本一の冬春ナスの生産地。今年も旬の季節がやってきました。なすなどを使った料理や地域産品をたくさん食べて、飲食店や生産者の皆さんを応援しよう！

お食事や商品のお買い上げ1回につきスタンプラリー応募はがきにスタンプ1個押印！ 毎月17日のなすの日は特別にスタンプ2個！

安芸の産品プレゼント！！

5個	安芸の野菜とオリジナル内原野焼き野菜の小皿のセット	10個	安芸のなすとオリジナル内原野焼き野菜の小皿のセット
10個	おばちゃんがつくるなすの加工品セット(なすの揚げ、なすの煮、なすの炒め)	15個	手づくり味噌と味噌の夢(酒)と安芸のなすのセット
20個	協賛店舗の1,000円分お食事券(お食事券に限り)	25個	安芸の冬野菜セット
30個	・安芸グループふぁーむの野菜アイス6個セット ・ペーカリージムのパンの詰め合わせ	40個	・peu à peuのなすのプリンセット ・安芸しらす煮のちりめんじゃこ

応募方法 2店舗以上でスタンプを3個集めたら応募できます。

応募方法 ①お食事や商品のお買い上げ1回につき、提供店舗の応募BOXに入ってください。 ②切手貼付のうえ、郵送(令和4年2月24日必着)でも受付します。

当選発表 ①当選は抽籤により決定します。 ②抽籤は令和4年3月を予定。 ③抽籤は抽籤の結果をメールで発表させていただきます。



税務相談日

令和4年12月21日(水)

会場 あき支所3階

時間 10:00～16:00

問い合わせ 安芸地区本部 企画組合員課 0887-34-1515